

学校独自検査問題は著作権の対象となっており、著作権法で保護されています。「私的使用のための複製」や「引用」など著作権法上認められた場合を除き、無断で複製・転用等することはできません。

平成 30 年度

公立高等学校入学者選抜

【前期選抜】

問 題

(仙台第二高等学校)

小 論 文 I

(第 4 時 13:00～13:50)

第一問 次の先生と生徒たちの会話を読み、それについて、あとの(1)～(4)の問いに答えなさい。

生徒A：私たちはグループで「近世日本と諸外国とのかかわり」について調べています。でも、わからないところがあるので、少し教えてくださいませんか。日本とヨーロッパとの交わりは、ポルトガル人の種子島漂着とフランシスコ・ザビエルの来航から始まります。その後、日本ではキリスト教が布教されました。当時、なぜ宣教師たちは受け入れられたのでしょうか。

先生：ザビエルら宣教師たちの日本人に対する布教活動は、老若男女、貧富の差を問わずに行われました。次の【図1】は南蛮寺、あるいは南蛮堂と呼ばれた建築物の絵です。南蛮寺とは日本に作ったキリスト教の教会堂です。イエズス会の宣教師たちは、布教のためにこのような教会や様々な建築物を各地に建設しました。こうしてザビエルの来航後、信者の数は多い時で30万人を超えたと言われています。なぜ、ここまでキリスト教が普及したかわかりますか。



【図1】

(狩野宗秀筆『都の南蛮寺図』  
神戸市立博物館蔵)

生徒B：はい。人々が、キリスト教の教えにひかれたのはもちろんですが、からです。しかし、ザビエルだけの活動でここまで信者の数が増えたのでしょうか。

先生：当然彼だけの業績ではありません。ザビエル以降も宣教師たちがやって来ています。信長や秀吉に謁見したルイス・フロイスや、九州のキリシタン大名であった大友氏や有馬氏にヨーロッパへ天正遣欧（少年）使節の派遣を勧めたヴァリニャーニなどがよく知られています。

生徒C：すると宣教師たちは次々と日本を訪れたのですね。彼らはどうやって来日したのでしょうか。

先生：よいところに気づきましたね。彼らは当時ポルトガル人やスペイン人と行われていた南蛮貿易の貿易船に乗ってやって来たのです。

生徒A：そうか。多くの戦国大名が宣教師を受け入れた理由は、からということですね。

先生：その通りです。さらに史料や文献を検証して、近世におけるヨーロッパ人や諸外国とのかかわりについて探究してみてください。

(1) には、当時の人々がキリスト教の信者になった理由が入る。文がつながるように、30字以内で答えなさい。

(2) には、多くの戦国大名が宣教師を受け入れた理由が入る。文がつながるように、30字以内で答えなさい。

- (3) 生徒たちは天下を統一した豊臣秀吉について調べた。【資料1】と【資料2】は豊臣秀吉が同時期に出した法令である。キリスト教と南蛮貿易に対する豊臣秀吉の姿勢を、次の【資料1】と【資料2】をもとに、80字以内で説明しなさい。

【資料1】豊臣秀吉が出した法令（抜粋、現代語に訳し、一部読みやすく改編してある。）

覚

- 一 キリシタン信徒の件に関しては、その者の心のままにすべきである。
  - 一 二百町、二、三千貫以上の知行を持つ者\*が、キリシタンになる場合には、秀吉の意向をうかがい、許可を得た上で、信徒となるべきである。
  - 一 知行高が上の高に達しない者に関しては、仏教宗派にも種々の宗派があることでもあり、その本人ひとりひとりについては心のままにしてよい。
- (※ 二百町は土地の広さ、二、三千貫はその土地から得られる収入、知行とは土地を支配すること。「二百町、二、三千貫以上の知行を持つ者」とは「大名」と置き換えてもよい。)

『新編 史料日本史』（東京法令出版） 『伊勢神宮文庫所蔵 御朱印師職古格』より作成

【資料2】豊臣秀吉が出した法令（現代語に訳し、一部読みやすく改編してある。）

定

- 一 日本は神国であるのに、キリスト教国から邪法（キリスト教）を授け広めるということは、まったくけしからぬことである。
- 一 諸大名が自分の領地の者をキリスト教の教えに導き、信者とし、神社仏閣を破壊しているとのこと、前代未聞のことである。国、郡、村などの知行地を、秀吉の家臣である大名に与えたのは一時的な処置である。秀吉から出される法令を守り、すべてその趣旨に従うべきであるのに、家臣としての勝手なふるまいは処罰する。
- 一 宣教師がその教えを広め、信者はその者の心のままに信者になると秀吉は考えていたが、上のように日本の仏教を破壊しているのは不届きであって、宣教師を日本の地に留めておくことはできない。よって、今日から二十日間のうちに用意を整えて帰国しなさい。その期間中に、家臣たちが宣教師に対して非道な行為をなした場合は処罰する。
- 一 南蛮船の渡来は商売のためで、キリスト教の問題とは別の特別のことであるから、今後とも諸商売は行うがよい。
- 一 今後、仏教の妨害をしない者であれば、商人は言うまでもなく、誰であってもキリスト教国との往来は差しつかえないので、その意向を心得ておきなさい。

以上

『新編 史料日本史』（東京法令出版） 『松浦家文書』より作成

- (4) さらに、生徒たちは「近世日本と諸外国とのかかわり」をまとめるために、江戸時代の幕府の外交姿勢についても調べた。次の【資料3】の[1]～[4]は生徒たちが調べた結果を書き出したものである。江戸幕府の外交姿勢とその目的について、【資料3】をもとに、120字以内で説明しなさい。

【資料3】

- [1] 江戸幕府の初代将軍家康は、1612年に直轄領にキリスト教の禁教令を出し、翌1613年には全国に禁教令を發布した。
- [2] 江戸幕府の3代将軍家光の時代にいわゆる「鎖国」体制が出来上がったが、それには日本人の海外渡航や日本人の帰国禁止も含まれていた。
- [3] 幕府は中国やオランダと正式な国交を結んだわけではないが、海外に金銀が流出するのを防止するために数度に渡って貿易額の制限をしている。
- [4] 幕府はオランダの商館長が提出する海外事情が記されたレポートを受け取っていたので、ある程度海外事情を知ることができた。しかし、それは一般の人々に知らされることはなく、幕府内部の上層部しか知りえない情報だった。

**第二問** 明治維新以降の日本の社会を民主政治という観点からみてみると、憲法が大きな役割を果たしている。日本では、大日本帝国憲法と日本国憲法とが制定され、それぞれの憲法に沿った政治が行われてきている。このことについて、次の(1)、(2)の問いに答えなさい。

- (1) 【資料1】は大日本帝国憲法発布以降の日本における主な政治の動きを示した年表、【資料2】は大正デモクラシーにおいて指導的役割を果たした吉野作造が書いた文章の一部である。【資料1】と【資料2】をふまえて、大正デモクラシーという風潮の背景と、この風潮の中で求められた政治のあり方を、100字以内で説明しなさい。

**【資料1】大日本帝国憲法発布以降の日本における主な政治の動き**

1889 (明治 22) 年 大日本帝国憲法が発布される。  
1890 (明治 23) 年 第一回衆議院議員総選挙が実施され、第一回帝国議会が召集される。  
1900 (明治 33) 年 立憲政友会が結成される。  
1914 (大正 3) 年 吉野作造が「民衆的示威運動<sup>じい</sup>＊を論ず」を発表する。  
1918 (大正 7) 年 立憲政友会総裁の原敬が内閣総理大臣に就任する。  
1925 (大正 14) 年 男子普通選挙制が実現する。  
(※「示威運動」とは「一定の主張や要求のため、大勢で集会や行進などを行う運動」のこと。)

**【資料2】吉野作造「民衆的示威運動を論ず」(1914年)(抜粋、一部読みやすく改編してある。)**

長い間、(中略)内閣は議会内部の勢力の変動とはかかわりをもたないとする態度をとってきた。もちろん、議会の勢力とまったくかかわらないではできなかったけれども、多くの場合、憲法施行当時の内閣の交代というものは、たいてい、その当時のいわゆる藩閥<sup>はんわく</sup>＊の内部で決まってしまう。(中略)少なくとも内閣の交代に、民意や、または民意の代表者である議会の勢力とは、直接の関係はなかったようである。(中略)その後、政党というものがだんだん発達して、立憲政友会のような、有力な政党が出てくると、政府もこれを無視することができなくなり、ここに初めて民衆の勢力というものが、政権の交代に関する問題についても、大きな影響を与えることになるかと楽しんでみていたのに、いつの間にか政党の幹部が政府と、これも外部からはわからない内密の妥協をして、かなり公明さに欠ける政権の受け渡しをしていた。(中略)このようなことは決して立憲政治の健全な発達ではない。どうしてもこのような密室政治はうちこわさなくてはならない。(中略)民衆の騒動というものは憲法に沿った政治が円滑でない場合に限って起こるのだから、これを円滑にしておけば心配はない。円滑にする方法はいろいろあるだろうけれど、まず第一には選挙権の拡張と、選挙区の公平な分配であると思う。(中略)それから政党内閣の樹立ということが、憲法に沿った政治を円滑にするのに必要な改革である。  
(※「藩閥」とは「主に江戸時代の薩摩、長州、土佐、肥前の四藩出身の有力者の集まり」のこと。)

(『日本の名著 48 吉野作造』(中央公論社)より作成)

- (2) 【資料3】は日本国憲法の公布を受けて、1948年に文部省が発行した教科書『民主主義』の一部である。【資料3】をふまえて、民主政治において意見を表明するために必要とされる人権と、マスメディアの発達した現代において、政治参加するにあたって求められる能力について、80字以内で説明しなさい。

【資料3】『民主主義』（1948年）（抜粋、旧字体を新字体に改め、一部読みやすく改編してある。）

民主国家では、すべての政治の源は国民の意志にある。言い換えれば、主権は国民に存する。(中略)そこで、国民は、広く一般に知れわたるようなしかたで、その希望や意見を言い表そうと努める。(中略)このように、世の中の注目をひいている問題について、たとえば新聞やラジオへの投書とか、雑誌や書物への寄稿とか、国民大会その他の会議での発言とかいう方法によって、一般的なしかたで表明された国民の声を、世論という。今日の社会には世論を伝える道筋がいろいろと発達している。自分で新聞や雑誌に書いたり、講演をしたり、ラジオの街頭録音に出かけて行って意見を述べたりしないでも、ある問題について論じている雑誌がどのくらい売れたか、ある人の講演にどんな人々が集まり、どれだけ熱心に拍手したか、どんな映画や芝居が人気があるか、というようなことを通じて、ある程度まで世論を知ることができる。それは、国民に対して、現在どういうことが問題となり、どんな点に関心が持たれているかを知らせる道であると同時に、国民の代表者たちに世論の傾向を判断させる有力な材料ともなるのである。(中略)偽らない事実、国民が知らなければならぬ事柄を、新聞やラジオや講演会によって広く国民に伝えるのは、ぜひしなければならない宣伝である。そういう正確な事実や情報を基礎にして、良識のある国民が、これはこうでなければならぬと判断したことが、ほんとうの世論なのである。しかし、宣伝は、悪用されると、とんでもない方向に向かって、国民の判断を誤らせることになる。

(『民主主義』(文部省)より作成)

第三問 アジアの国々について、【資料1】～【資料4】をみて、あとの(1)～(4)の問いに答えなさい。

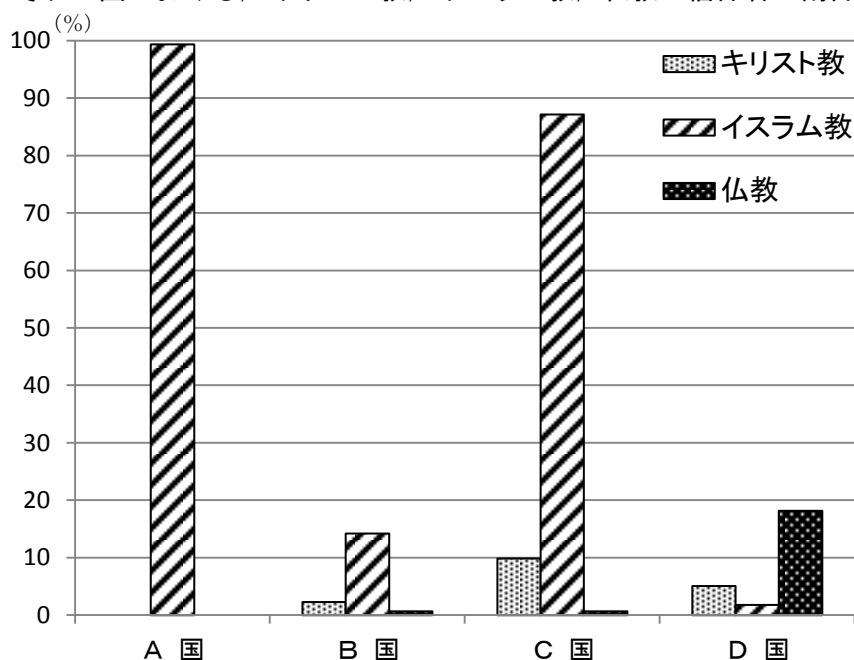
【資料1】、【資料2】および【資料3】のA国～D国は、東アジア、東南アジア、南アジア、西・中央アジアのいずれかの地域において、最も人口が多い国を示している。  
(各資料において同じアルファベットの国は同一国である。)

【資料1】それぞれの国における、人口と国土面積

	A国	B国	C国	D国
人口(万人)	8,116	133,918	26,399	140,951
国土面積(万km <sup>2</sup> )	162	328	191	960

(『世界国勢図会 2017/18年版』(矢野恒太記念会)より作成 人口は2017年、面積は2015年)

【資料2】それぞれの国における、キリスト教、イスラム教、仏教の信仰者の割合

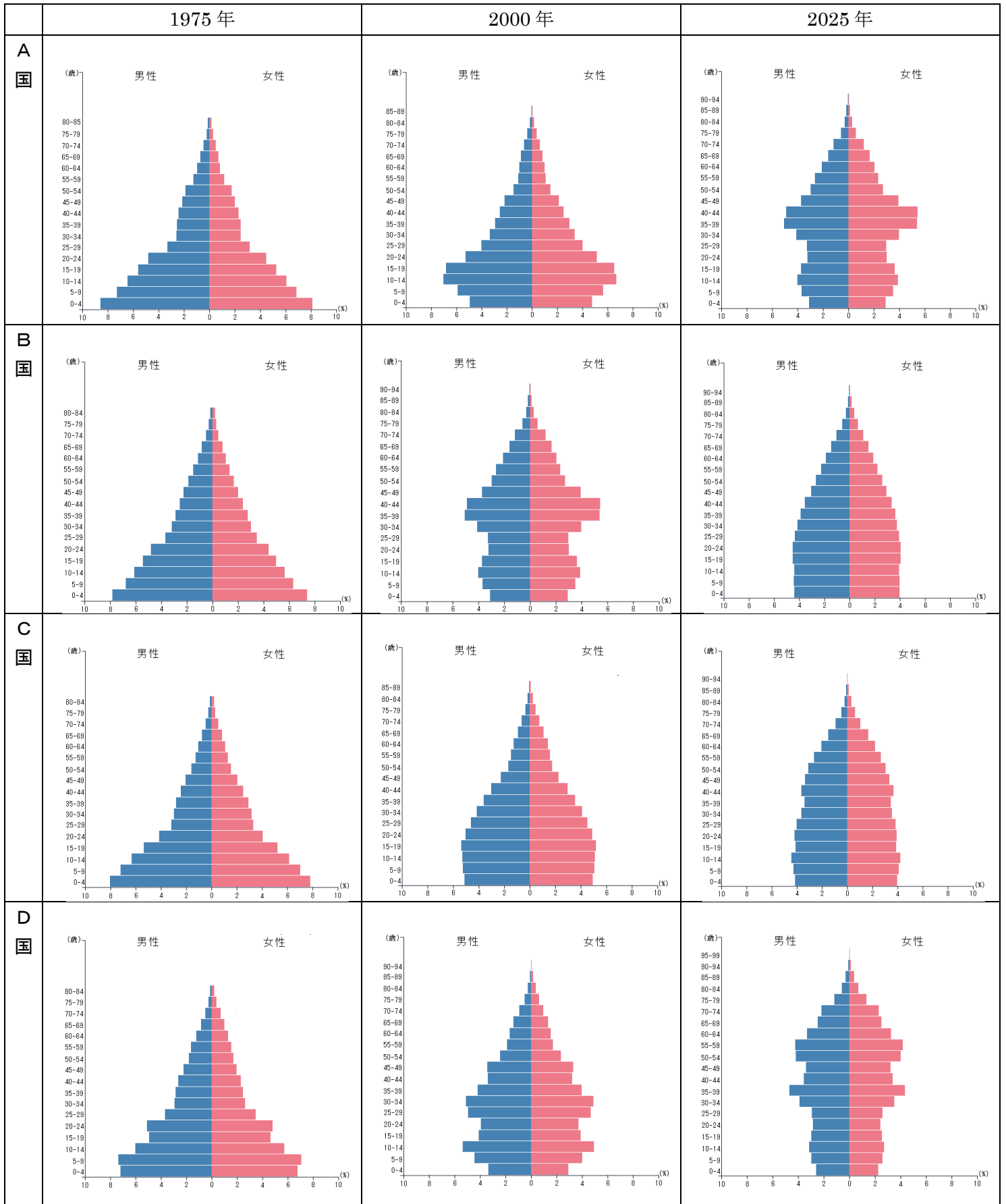


(『世界国勢図会 2017/18年版』(矢野恒太記念会), 『データブックオブ・ザ・ワールド 2017年版』(二宮書店)より作成)

- (1) 【資料1】と【資料2】をもとに、イスラム教信仰者数が多い順にA～Dの記号を解答欄に記入しなさい。
- (2) 【資料3】をみると、1975年の人口ピラミッドは各国とも似たような形をしている。この人口ピラミッドの型の名称を答えなさい。また、その型にみられる国の特徴を、出生率・死亡率と経済状況の面から30字以内で説明しなさい。
- (3) 【資料3】のA国～D国の人口ピラミッドの2025年までの変化を見て、最も早く現在の日本に近い人口構成となる国をA～Dの記号で答え、国名を書きなさい。また、人口構成の変化の理由をその国の政策面から説明し、さらにその人口構成のもとで今後懸念される課題を70字以内で説明しなさい。

【資料3】それぞれの国における、1975年、2000年、2025年※の人口ピラミッド

(※ 2025年に関しては予測値である。)



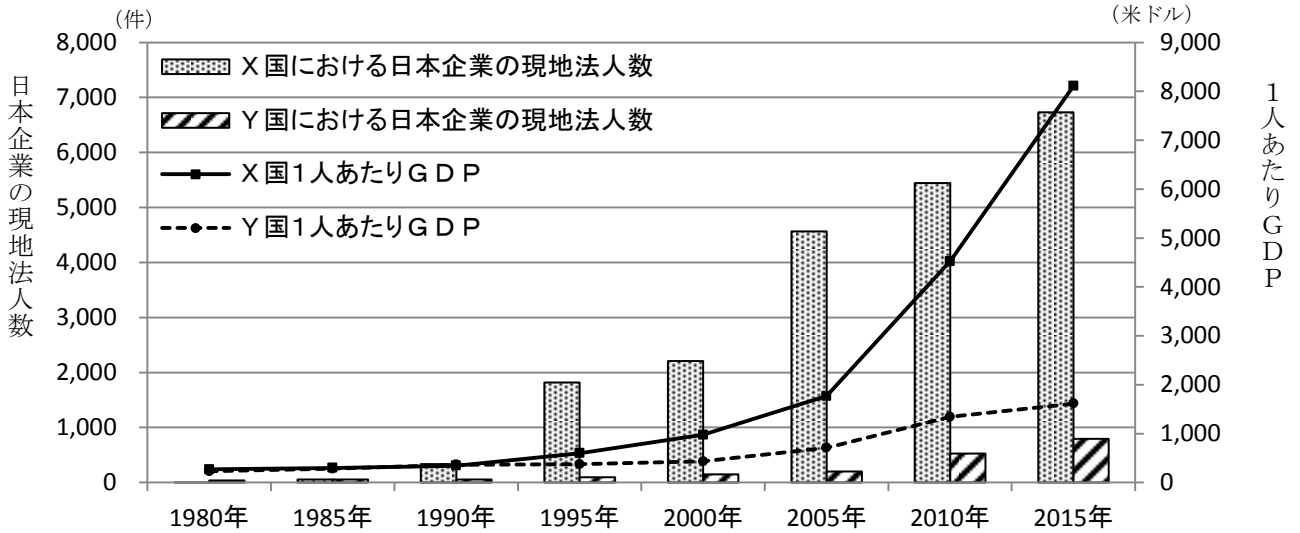
(『PopulationPyramid.net 世界の人口ピラミッド (1950~2100年)』より作成)



(4) 【資料4】のX国とY国は、【資料1】～【資料3】におけるB国かD国のいずれかである。このことについて次の問いに答えなさい。(その際、実際の国名を明記する必要はない。)

- ① X国に該当する国はどちらか、BかDの記号で答えなさい。
- ② X国における日本企業の現地法人数が大幅に増加している理由を、X国の経済政策の面と国民の消費活動の面から90字以内で説明しなさい。

【資料4】X国、Y国における、日本企業の現地法人数と1人あたりGDP（国内総生産）の推移



(『海外進出企業総覧』(東洋経済新報社), 『世界の統計』(総務省統計局)より作成)